

上田・緑が丘地区防犯交通安全協力会

対話集会報告

《発行》

上田・緑が丘地区防犯交通安全協力会

発行責任者：事業部長 高橋 重幸

令和2年2月発行



第35回「地域と中学生の対話集会」開催される！ 「絆を深める地域づくりをめざして」 ～地域とのふれあい活動を通して～

2月1日(土)上田公民館ホールを会場として、当上田・緑が丘地区防犯交通安全協力会主催による第35回「地域と中学生の対話集会」が開催されました。ご来賓の皆様をはじめ、町内会長、学校関係者、少年指導員、民生児童委員、交通指導員、地域住民など総勢211名の皆様にご参加いただき、1時間半にわたり活発な意見交流が行われました。

《振付け付き“パプリカ”で盛り上がる》

オープニングは、上田中学校生徒会執行部および有志の皆さんによるステージ発表でした。心落ち着く校歌と合唱「君とみた海」の演奏の後、元気な応援パフォーマンスが披露され中学生たちの

熱気が会場に溢れました。最後に執行部の巧みなリードで来場者も一緒になって振付交じりに「パプリカ」を歌う頃には、会場はすっかり中学生たちのなごやかなペースに一つまれました。

開会行事では、千葉健一会長が「環境保護と命の大切さ」について触れ、地域の中での中学生の役割に期待しているとの挨拶がありました。続いて、盛岡市教育委員会教育長千葉仁一様から「長年本事業に取り組んでこられた熱意に敬意を表するとともに、中学生の皆さんが地域活動を通して未来を切り開く担い手として成長しており心強く感じます。活動を通して地域のきずなが深まり活性化が図られることを期待しています。」とご祝辞をいただきました。

《災害時に地域の力となるのは中学生》

本年度の対話集会では、黒石野中学校の皆さんが「災害時、私たち中学生が地域のためにできることを考える」をテーマに日ごろ地域の中で行っ



ている活動の紹介を行いました。1年生の総合的な学習の時間“街道（みち）の時間”で、生徒たちは課題を見つけ地域に入って活動を行います。19の地区生徒会で、「災害時に地域の力となるのは中学生だ！」として、町内会と連携しながら様々な活動を地域内で行いました。「消火模擬訓練、バケツリレー競争、担架運搬リレーなどを取り入れた防災運動会」（黒石野平地区）、「ロープワーク講習会」（黒石野地区）、「“あけがらす”や“がんづき”作りを通した地域とのつながり作り」（上田堤地区）「災害時の安否確認に“ブルーリボン”を使う取り組み」（緑が丘4丁目）、「防災（防犯）マップ作製」（高松4丁目）、「上田・緑が丘の中学生



が中心となった大人や小学生も参加する“避難訓練”などの事例が具体的に紹介されました。

《防災は地域との“つながり”の中で》

黒石野中学校の発表に対して会場からはたくさんの質問や意見が出され、活発な交流が行われました。教育長からは、「黒石野中の教育目標『深く考える』が実践されていることがわかる良い発表だった。盛岡の中学生は地域活動に参加する比率が全国でも高い。中学生として何ができるかをしっかり考えていることに感謝したい。」と発言がありました。参会者からは、「防災運動会の取り組みについて詳しく知りたい」「防災意識の高揚のため、校内陸上大会に“バケツリレー”を取り入れてはどうか。」「避難訓練に地域のお年寄りにも参加してもらってはどうか。」「日常の挨拶活動を通して中学生と地域とのつながりを作りたい。」

「学校行事に親や地域住民が参加する機会を増やすことが重要。」「防災の基本は隣近所にどんな人が住んでいるかを知ることから始まる。」「地域の人も参加する行事“バザー祭”の時に“バケツリ



レー”をとりいれてみてはどうか。」「小中、両中学校間で行っている挨拶協定のよう、防災のとりくみでも連携できるようになればよい。」「“歩くだけの防災”もある。地域を足で歩いて地域を知り自分なりの“心の防災マップ”を作ってはどうか。地域に対する新たな発見の中から防災に対する具体的なイメージがわいてくるものだ。」などの発言がありました。中学生からは、「活動を校内だけでなく他の中学校に広めていきたい。」「自分の学校でも“担架リレー”や“バケツリレー”をやりたい。」「自分たちの学校以外で行っている活動を知ることができた。」と意見が述べられ、町内会役員の方から、「実際の災害に使えるかは別として地域の中で中学生が防災・減災について考えることは意義のあること。町内会では、町内会行事のポスターを中学生にお願いするなど、中学生とどのようにかかわりを持つかを常に考えている。」との発言がありました。



締めくくりの感想発表では、中学生の「今回の集会で中学生として防災に関して何ができるかを考えることができた。」「黒石野中学校との連携を考えていきたい。」「地域の人たちとの挨拶など小さなことから地域との交流・連携を大切に地域とかかわっていきたい。」の発言を受けて、町内会長さんから「10年後、地域活動を一緒にやってくれることを楽しみにしている。今後、両中学校間の連携が深まることを期待したい。中学生が防災をテーマに活動を企画し、報告質疑でも的確に回答・対応できたことがすばらしかった。」とお話があった。

なお、次回、令和2年度の“第36回地域と中学生の対話集会”は、令和3年2月6日（土）に、同じく上田公民館で開催する予定です。